

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 工業(プロダクト) 科目 機械実習

教科: 工業(プロダクト) 科目: 機械実習 単位数: 4 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組

教科担当者: (1組: 伊藤 一三・島本 日出夫・星 勇気・星野 泰之)

使用教科書: (実教出版 機械実習 1)

教科 工業(プロダクト) の目標:

【知識及び技能】工業の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する知識と技術を活用して、その考えを的確に表現し伝える能力を身につけている

【学びに向かう力、人間性等】工業技術について主体的に興味・関心を持ち、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

科目 機械実習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術を身につけている。	工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	オリエンテーション ①旋盤 ②アーク溶接実習 ③フライス実習 ④材料実験	①旋盤作業の概要、豆ジャッキの制作 ②アーク溶接の作業方法、ビード練習 ③フライス実習の導入、フライス盤の操作説明と操作 Vブロックの製作 ④材料実験の概要説明・硬さ試験、衝撃試験 ①～④の実習をローテーションで行い、各作業、使用工具、材料、安全について理解する。実習後、レポートを作成し、作業を振り返り、課題の発見・改善策を検討する。	ノート 教科書 電卓 旋盤 フライス 溶接機 ポール盤 硬さ試験機 衝撃試験機	○	○	○	40
2 学期	①旋盤 ②アーク溶接実習 ③フライス実習 ④材料実験	①旋盤作業の概要、豆ジャッキの制作 ②アーク溶接の作業方法、ビード練習 ③フライス実習の導入、フライス盤の操作説明と操作 Vブロックの製作 ④材料実験の概要説明・硬さ試験、衝撃試験 ①～④の実習をローテーションで行い、各作業、使用工具、材料、安全について理解する。実習後、レポートを作成し、作業を振り返り、課題の発見・改善策を検討する。	ノート 教科書 電卓 旋盤 フライス 溶接機 ポール盤 硬さ試験機 衝撃試験機	○	○	○	52
3 学期	①旋盤 ②アーク溶接実習 ③フライス実習 ④材料実験	①旋盤作業の概要、豆ジャッキの制作 ②アーク溶接の作業方法、ビード練習 ③フライス実習の導入、フライス盤の操作説明と操作 Vブロックの製作 ④材料実験の概要説明・硬さ試験、衝撃試験 ①～④の実習をローテーションで行い、各作業、使用工具、材料、安全について理解する。実習後、レポートを作成し、作業を振り返り、課題の発見・改善策を検討する。	ノート 教科書 電卓 旋盤 フライス 溶接機 ポール盤 硬さ試験機 衝撃試験機	○	○	○	28